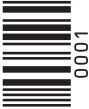


2022年10月改訂（第5版）

貯法	室温保存
----	------

承認指令書番号	20動薬第3559号
販売開始	2009年9月
再審査結果	2017年10月



動物用医薬品

乳房内注入用抗炎症剤
マストリチン®

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、グリチルリチン酸一アンモニウムを有効成分とする牛の泌乳期用乳房注入剤です。本剤は、牛の泌乳期乳房炎における炎症の改善効果を有し、泌乳期用乳房注入剤（有効成分セファゾリン）との併用により、乳房炎の治療に効果を発揮します。

【成分及び分量】

1 容器（10mL）中

有効成分	含 量
グリチルリチン酸一アンモニウム （グリチルリチン酸として）	612mg (600mg)

【効能又は効果】

牛の泌乳期乳房炎における炎症の改善

【用法及び用量】

1 分房当たり10mL（グリチルリチン酸として600mg）を泌乳期の乳房炎発症乳房内に注入する。投与は1症例につき1回とする。本剤投与後、直ちに泌乳期用乳房注入剤（有効成分セファゾリン）を用法・用量に従って投与する。本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。

牛：3日間
牛乳：72時間

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・ 本剤は獣医師等の適切な指導の下で使用すること。
- ・ 本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・ 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- ・ 本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。

牛：3日間
牛乳：72時間

（牛に関する注意）

- ・ 本剤は乾乳期の牛に投与しないこと。
- ・ 投与前及び投与後に乳頭及び乳頭口を消毒すること。
- ・ 投与は添付の乳房用投与ユニットGを注射筒に接続して行うこと。
- ・ 乳房用投与ユニットG及び注射筒の先端は清潔に取り扱うこと。
- ・ 乳房用投与ユニットGは、分房ごとに置き換えること。
- ・ 乳房炎症状の軽重に関わらず全量を投与すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- ・ 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・ 変色が認められた場合には使用しないこと。
- ・ 小児の手の届かないところに保管すること。
- ・ 直射日光、高温及び凍結を避けること。
- ・ 使用済みの容器等は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・ 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

（取扱い上の注意）

- ・ 投与は以下の手順で行うこと。
 - 1) 注射筒のキャップをはずし、乳房用投与ユニットGを装着する。必要に応じて調整キャップをはずす。

- 2) 乳頭を消毒後、乳頭口に投与ノズルを挿入し、本剤の全量を投与する。
- 3) 本剤投与後、直ちに泌乳期用乳房注入剤（有効成分セファゾリン）を用法・用量に従って投与する。
- 4) 泌乳期用乳房注入剤を投与後、再度乳頭を消毒する。

（専門的事項）

①重要な基本的注意

- ・本剤投与後、直ちに泌乳期用乳房注入剤（有効成分セファゾリン）を投与すること。セファゾリンを有効成分とする泌乳期用乳房注入剤以外では、併用による吸収性、残留性、安全性、有効性等についての確認がなされていない。本剤の畜体における休薬期間は、併用するセファゾリン製剤の休薬期間に合わせて設定している。
- ・本剤投与後には、カゼインとの不可逆的な反応により凝固物が生じることがある。なお、この凝固物は前搾りにより除去でき、休薬期間内に消失する。

②その他の注意

- ・ヒトにおいて、グリチルリチン酸等を含有する医薬品の大量使用或いは長期連用による偽アルドステロン症（低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等）が報告されている。

【薬理学的情報等】

（薬効薬理）

本剤の有効成分であるグリチルリチン酸は甘草の根・根茎に含まれる成分であり、ヒスタミン（血管透過性亢進や血管拡張を招く）やロイコトリエン（好中球の遊走を促す）等、複数の炎症誘起因子の産生を抑制することにより、乳房の炎症を速やかに改善する。

（臨床成績）

乳房に腫脹、硬結を認める乳房炎牛に本剤（67頭、79分房）及び対照としてキモトリプシン注射剤（32頭、38分房）を投与した。両薬剤の投与時にはセファゾリン乳房注入剤を併用した。その結果、投与後7日目の腫脹・硬結の改善率（投与前後の臨床スコア差/投与前臨床スコア）及び有効率（改善率70%以上の分房数/供試分房数）は、本剤投与群では、それぞれ83.1%及び88.5%、対照群では44.7%及び56.3%であり、本剤投与群の改善率及び有効率は対照群と比べて有意に高かった。

【包装】

10分房分：10mL（1分房分）×10

ブリスターフィルム包装10個（乳房用投与ユニットG 10個添付）

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術

〒102-0073

東京都千代田区九段北一丁目11番5号

TEL:03-3264-7559

製造販売業者



共立製薬株式会社

東京都千代田区九段南 1-6-5

®登録商標

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<https://www.maiff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。

MST05-NI2206